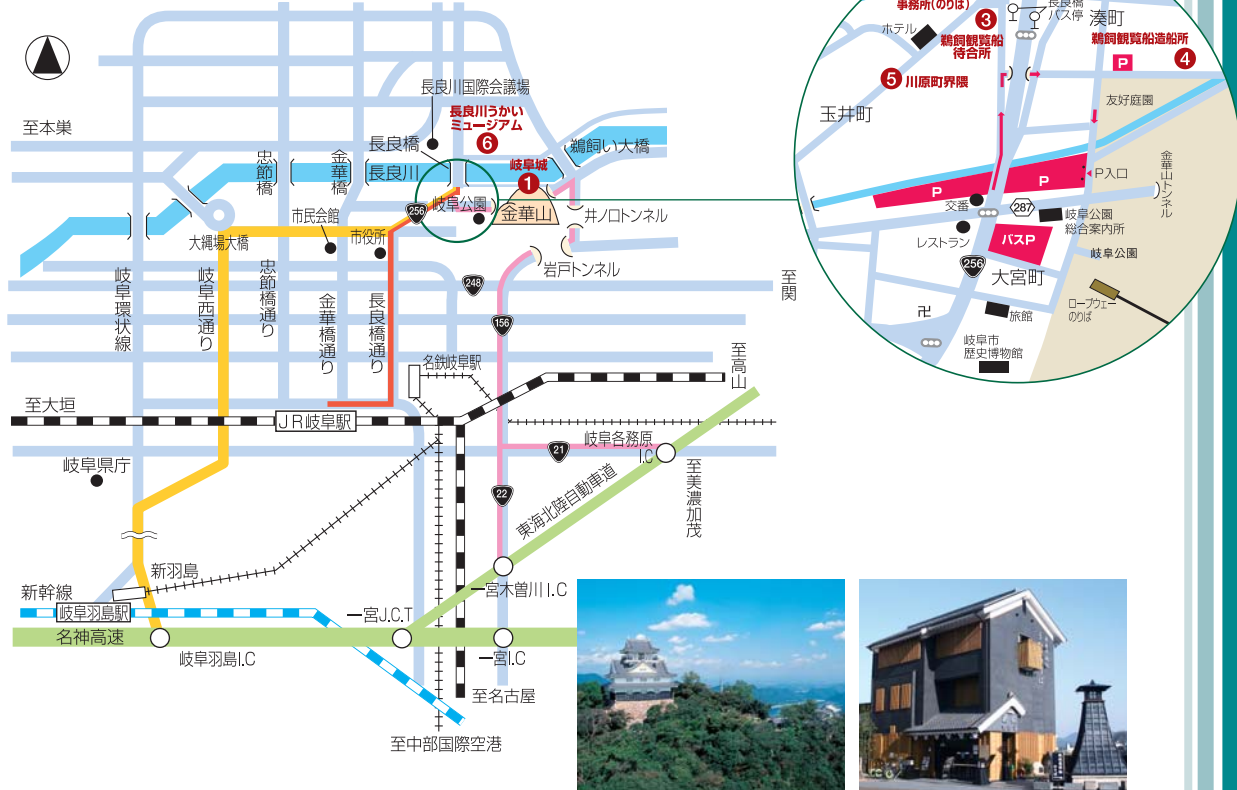


交通のご案内

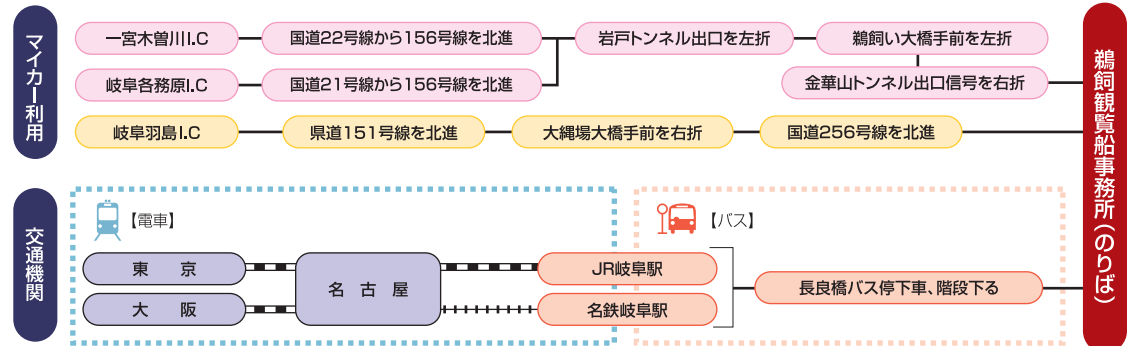


1 国史跡 岐阜城跡 2 鶺鴒観覧船事務所(のりば)



3 鶺鴒観覧船待合所 4 鶺鴒観覧船造船所 観覧日時:9:00~16:00(年末年始を除く) 5 川原町界隈 6 長良川うかいミュージアム

アクセスのご案内



観光案内

岐阜市観光コンベンション課 〒500-8720 岐阜市神田町1丁目11 TEL058-265-3984
 岐阜市観光案内所 〒500-8856 JR岐阜駅構内(2F) TEL058-262-4415
 公益財団法人岐阜観光コンベンション協会 〒500-8727 岐阜市神田町2丁目2 TEL058-266-5588

お問い合わせはこちらまで

乗船にはご予約が必要です。(お一人様からでもご乗船できます。)

岐阜市鶺鴒観覧船事務所(のりば)

〒500-8009 岐阜市湊町1-2
 TEL058-262-0104 FAX058-264-2061

URL <http://www.ukai-gifucity.jp/ukai/>

CORMORANT FISHING ON THE NAGARA RIVER

ぎふ長良川の鶺鴒



開催期間
 5月11日~10月15日
 国際会議 観光都市 岐阜市



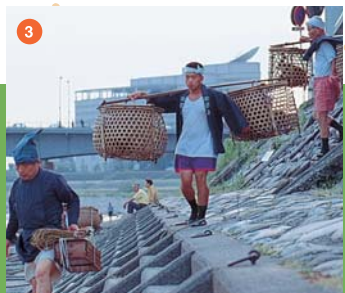
ぎふ長良川の鵜飼

風雅1300年、今に伝える感動絵巻

■鵜飼開催期間■ 5月11日～10月15日

漁法の手引き

- 1 鵜の選択**
体調を考慮して、その日出漁する10～12羽の鵜を毎日選びます。
- 2 鵜舟の準備**
篝火(かかろび)の薪となる松割木、吐籠(はけかご)など鵜飼に必要な道具を舟に積み込みます。また、箒を吊るす箒棒は、樹液でスムーズに動かすため、ムクゲの枝葉と一緒に差し込みます。
- 3 鵜籠を舟に**
鵜舟の準備が済むと鵜籠に入った鵜を舟に乗せます。
- 4 まわし場へ**
漁の準備をする上流へと鵜舟を走らせます。
- 5 日没を待つ**
日没までたき火を囲んで待ちます。
- 6 くじ引き**
毎日6隻の出漁順が、くじ引きで決められます。
- 7 鵜飼の開始**
①鵜籠から鵜を一羽ずつ取り出し、鵜の状態を見ながら手縄(たなわ)を結びつけていきます。
②手縄は、のどに巻く方を首結(くびゆい)、羽の下にたすき状にかけ方を腹かけといいますが。(鵜の状態や鮎の大きさにより締め具合を加減します。)
③篝火がともされ、いよいよ出漁です。
- 8 終了**
仕事を終えた鵜が、舟縁で羽を休めます。



観覧の手引き

- 1 受付 (17:30～)**
ご予約の時間より早めに鵜飼観覧船事務所窓口にて受付を済ませ、乗船券をお受け取りください。(乗船券には船名が記載されています。)
- 2 鵜飼説明 (17:45頃)**
鵜飼観覧船のりばにて、鵜匠による鵜飼説明があります。
※観覧船事務所裏手のりばで実施。
- 3 出船 (17:30～19:15)**
指定された観覧船にご乗船ください。
鵜飼観覧ポイントへ向かいます。長良川・金華山などの風景をお楽しみください。
・乗合船 Aコース 18:15 Bコース ①18:45 ②19:15
・貸切船 17:30～19:15のご希望の時間
- 4 川岸に停泊 (～鵜飼開始10分前頃)**
鵜飼が始まるまでの時間を、お食事・宴会等でお過ごしください。
- 5 鵜飼開始 (19:45頃)**
鵜飼の始まりを合図する花火が上がり、いよいよ鵜飼が始まります。
- 6 狩り下り**
観覧船が鵜舟1隻と併走して川を下ることです。鵜匠の手縄さばきや鵜が鮎を捕らえる様子を見ることができます。
※ただし、天候・河川状況により「狩り下り」ができない場合もあります。
- 7 総がらみ**
鵜舟6隻が川幅いっぱい横隊となり、一斉に鮎を浅瀬に追い込む鵜飼のクライマックスです。
- 8 下船 (20:30頃)**
余韻を楽しみながら下船します。
※各時間は当日の天候、船数、イベント等によって前後します。



深い絆で結ばれた 鵜匠と鵜 伝承の歴史



うし
しょう
匠

宮内庁式部職である長良川の鵜匠は6人で代々世襲となっています。親から受け継いだ技を磨き、1年中変わらぬ愛情で鵜を育てる彼らの生活は鵜飼ひとすじ。風折烏帽子に腰蓑姿という伝統装束の勇姿と華麗な技を披露します。

「おもしろうて やがて悲しき 鵜舟かな」と芭蕉も詠んだ鵜飼。日本における鵜飼の歴史はきわめて古く、日本書紀、古事記にもその記述が見られます。長良川の鵜飼はおおよそ1300年(西暦702年の史料より)の歴史があり、岐阜の夏の風物詩として受け継がれてきたのは「鵜匠」という地位を与えた織田信長や、鮎鮎を好んで江戸城へ献上させた徳川家康など、時の権力者に保護されてきたからといわれています。明治23年からは鵜匠に宮内省(現在の宮内庁)式部職という位が授けられ、その伝統が守り受け継がれ、鵜飼は「芸術」にまで高められました。長良川の鵜飼用具一式122点は国の重要有形民俗文化財、長良川鵜飼漁は岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。伝統装束に身を包んだ鵜匠が「ほうほう」と声をかけながら鵜を自在にあやつって鮎を狩る様子は、見る人を幽玄の世界へ誘い、燃えさかるかがり火に古典絵巻を感じていただけるはずです。

鵜

う



鵜飼の鵜は渡り鳥で、野生の海鵜を捕獲し、厳しい訓練を経て、一人前の鵜となります。現在は茨城県の日立市十王町で捕獲されています。鵜匠の手縄に導かれ、一生懸命に鮎を追う姿はきっと皆さんの心を打つことでしょう。